国東市シンポジウム
人口減少時代の地域づくり
～やりたいことが動き出す地域の『つながり』づくり～

要旨

■第一部：基調講演

第一部では、採銅所地域コミュニティ協議会宮原様、西宇様、香春町役場まちづくり課村上様にご講演をいただきました。採銅所地域コミュニティ協議会は、福岡県田川郡香春町採銅所地区に令和４年１月に設立された自治組織です。６つの分野に分かれた部会で多様な取組を展開し、老若男女問わずに個性を発揮できる地域づくりを実践しています。令和７年度過疎地域持続的発展優良事例表彰では『総務大臣賞』を受賞するなど、その取組が全国的にも注目されています。協議会では、誰もが発言できるよう、対話を大切にした会議運営を意識しているようで、年齢、性別、肩書に関係なく一人ひとりの「地域を思う気持ち」を大切にすることで、想像を超えた地域づくりが生まれているとお話ししていました。採銅所では、地域づくり夢プランを策定し、大きく６つの取組をしています。１つ目は、「支援・交流・支えあい」です。世代や地域を超えた交流を通して、誰もが助け合える拠点づくりに取り組んでいます。２つ目は、「遊び・学び」です。地域の声で始まる講座で「できる」と「やりたい」をマッチングさせています。３つ目は、「稼ぐ・つくる」です。誰でも生産・販売者になれる朝市と、地域内の資源が特産品になる活動をしています。４つ目は、「農・自然」です。農の初心者が取り組みやすく、農作物を作った後までを考えています。５つ目は、「交通支援」です。あくまでも自主運営で、運転する人は無償で活動しています。背景には、採銅所で困っている人を助けたいという思いがあります。６つ目は、「防災」です。誰一人取り残さない、自分たちで自分たちの地域を守るためにできることからはじめています。そして、地域活動がかっこいい、やりたいと思われる活動になって、多様な参画を期待しているとおっしゃっていました。

■第二部：パネルディスカッション

第二部では、アトリエ「libre..m2+(リーブル)」膳瀬様、国東市ジュニアリーダークラブ「せっぺの会」中野様、阿部様、採銅所地域コミュニティ協議会宮原様、青山地域コミュニティ協議会江藤様にご登壇いただき、パネルディスカッションをしていただきました。宮原さんは、参画する際に地域に対する先入観を持ちすぎないことが重要だと述べています。年長者が話を聞いてくれないといった思い込みや、最初からハードルを上げすぎてしまうことが参加を妨げるため、気軽にお手伝い感覚で地域の活動を見に行ってみることから始め、その後段階的に自分がやりたいことをやってみるといった難しく考えすぎない姿勢が必要だとおっしゃっていました。中野さんは、日頃から地域づくりに関心を持

ち、地域の行事や活動に積極的に参加してたくさん知り合いを増やすことが最も重要だと考えており、このように地域との繋がりを広げていくことが参画への基盤となるとお話しいただきました。膳瀬さんは、参画する側が一人で抱え込まずに、同じライフステージにいる同世代の方たちを巻き込みながら活動を進めることの重要性を強調しており、共同主催者や手伝ってくれる方との連携を通じて、個人の負担を減らしながら活動の輪を広げていくことが実感できているとおっしゃっていました。江藤さんは、参画する側に最も必要な心構えは「地域が好き」という気持ちだと述べており、地域への愛着があれば、その地域で役に立てることがあれば参加したいという前向きな動機が自然に生まれ、無理のない範囲で継続的に活動に参加できるようになるとお話しいただきました。